

議案第64号 関連資料
明石市新型コロナワクチン接種事業について

新型コロナワクチンの接種につきましては、1・2回目接種(5歳以上)、3回目接種(12歳以上)を進めるとともに、6月からは4回目接種(60歳以上及び基礎疾患のある18~59歳の人など)も実施しているところです。

加えて、今月からはオミクロン株対応ワクチンを使った接種も行われることになっており、引き続き、希望する市民が確実に接種を受けられる体制づくりを進めてまいります。

1 接種状況(9/11時点)

	対象数 (人)	1回目接種		2回目接種		3回目接種		4回目接種	
		接種数 (人)	接種率	接種数 (人)	接種率	接種数 (人)	接種率	接種数 (人)	接種率
60歳以上	95,645	90,602	94.7%	90,346	94.5%	86,165	90.1%	63,213	66.1%
18~59歳	158,509	132,096	83.3%	131,571	83.0%	92,360	58.3%	7,416	4.7%
12~17歳	16,296	10,523	64.6%	10,393	63.8%	4,294	26.4%	(対象外)	-
5~11歳	19,676	2,132	10.8%	2,031	10.3%	0	0.0%	(対象外)	-
0~4歳	14,256	(対象外)	-	(対象外)	-	(対象外)	-	(対象外)	-
不明(死亡等)	-	5,161	-	4,957	-	2,396	-	119	-
計	304,382	240,514	79.0%	239,298	78.6%	185,215	60.8%	70,748	23.2%

※対象数は、2021.1/1時点(住基人口からの推計)

接種者数は、ワクチン接種記録システム(VRS)の登録実績に基づく数値

2 オミクロン株対応ワクチンの接種について

(1) 概要及び期待する効果

- ・現在使用しているワクチンを、従来株とオミクロン株に対応した2価ワクチン(ファイザー社、モデルナ社の2社が開発)に切り替えるもの
- ・3回目以降の追加接種に使用し、現時点では1人につき1回接種
- ・流行しているオミクロン株に対応した成分が含まれるため、現行のワクチンを上回る重症化予防効果や、短い期間である可能性はあるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待

(2) 接種対象者及び接種券

- ・初回接種(1・2回目接種)を完了した12歳以上の人(詳細は下表のとおり)

	接種対象者の要件	対象者数	接種券
3回目	①12歳以上の人	約49,000人	発行済
4回目	②60歳以上の人	約23,000人	概ね発行済
	③18~59歳の人のうち、基礎疾患のある人・医療従事者・高齢者施設等従事者	約13,000人	申請により発行済
	④上記以外の18歳~59歳の人	約72,000人	10月発送予定

※対象者数は、上記1の接種状況をもとに算出

- ・4回目の接種券を発行していない人(上表④)への接種券については、10月上旬以降、3回目接種時期に応じて段階的に発送する予定
- ・現行ワクチンの4回目接種を完了した人(約71,000人)への5回目接種については、接種間隔等の詳細が判明次第、市HPや広報あかしを通して広報

(3) ワクチンの入荷及び接種開始時期等

- ・ 9月より輸入開始。本市には、9月中に一定数が入荷する見込み
- ・ 9月中に、入院患者や医療従事者の希望者に接種できるよう調整
- ・ 医療機関及び集団接種では、10/1より接種開始予定
- ・ 接種期限（特例臨時接種の実施期間）：9月末まで → 2023年3月末まで延長

(4) 接種会場

- ・ 当面は、個別接種（約120の市内医療機関）を基本とし、集団接種（あかし保健所）も併用
※ワクチン供給量に応じて、現在閉鎖中のあかし市民広場についても会場を再設置する予定
- ・ 高齢者施設等入所者については、入所先での接種を継続中

(5) 財源等（下記3のとおり補正予算が必要）

- ・ 9/30までの事業分：市独自の財政支援を除き、全額国費
市独自の財政支援（土曜日の接種単価引き上げ）については、制度の目的（土曜日の接種機会の確保による接種の促進）について一定の成果を得たこと、今年度も高齢者のインフルエンザワクチン接種事業を予定していること踏まえ、財政の有効活用の観点などから、当初の接種期限である本年9/30接種分をもって終了
- ・ 10/1以降の事業分：全額国費

3 補正予算案

(1) 理由

今年度当初予算の前提が大きく変わり、6月の時点では、当該事業の制度変更に伴う経費増について当初予算で対応する予定でしたが、これが困難になったため、以下の項目に関する経費の追加が必要となりました。

- ・ 12～17歳の人々の3回目接種に要する経費（3/25より対象拡大）
- ・ 60歳以上の人及び18～59歳の基礎疾患がある人の4回目接種に要する経費（6月より接種開始）
- ・ 18～59歳の医療従事者、施設従事者の4回目接種に要する経費（7/22より対象拡大）
- ・ オミクロン株対応ワクチンの導入に伴う接種期限の延長に要する経費（10月半ば以降接種開始）

(2) 補正予算の内訳等

	補正額	適用	財源
接種体制確保等	1,061,800千円	接種券作成・発送、相談・予約受付業務委託、集団接種会場運営業務委託など	国
接種費用	1,072,000千円	通常の接種費用及び市独自の財政支援（土曜日の接種費用の上乗せ）	国・一般
合計	2,133,800千円		